

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

世田谷通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「目白通り」、「内堀通り」、「目黒通り」、「本郷通り」と歩きました。江戸五色不動の「目黄不動尊」が明治通りの大関横丁交差点先の「永久寺」に、「目白不動尊」が目白通りの高田一丁目交差点近くの「金乗院」に、「目黒不動尊」が目黒通りの大鳥神社交差点近くの「龍泉寺」に、「目赤不動尊」が本郷通りの「南谷寺」にありました。

現在は江戸五色不動の最後に残った「目青不動尊」がある「世田谷通り」を歩いています。写真上右は世田谷通りの道路名標識（都道3号線）です。世田谷通りは世田谷区三軒茶屋の玉川通り三軒茶屋交差点から狛江市東和泉四丁目の多摩水道橋に至る延長9kmの道です。今回は起点の三軒茶屋交差点から東京農業大学前まで歩きました。

今回は東京農業大学先から終点の狛江市の多摩水道橋まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅で少し遠い駅もあります。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

東京農業大学先の右へ行く道は千歳通りで小田急線 千歳船橋駅方面です。世田谷通りは直進します。次の信号で左へ行く道は用賀中町通りで、馬事公苑の西側から東急田園都市線 用賀駅方面です。

[上用賀六丁目交差点] 世田谷区上用賀六丁目

最寄駅 東急田園都市線 用賀駅



交差点の角は関東中央病院です。
左へ行く道は西用賀通りで東急田園
都市線 用賀駅方面です。

[三本杉陸橋交差点] 世田谷区用賀六丁目

最寄駅 東急田園都市線 用賀駅

三本杉陸橋交差点（写真下右）で環八通り（都道 311 号線）と交差します。左へ行くと瀬田で第三京浜、東名方面です。右へ行くと高井戸方面です。環八通りは大田区の羽田空港一丁目を起点に、北区岩淵町北本通りの赤羽交差点に至る延長約 39km の環状方向の道です。



[NHK放送技術研究所] 世田谷区砧一丁目

最寄駅 小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅

世田谷通りの右側にNHK放送技術研究所（写真下右）があります。NHK技研の信号（写真下左）を左へ行く道は大蔵通りで砧公園方面です。NHK放送技術研究所は日本放送協会（NHK）が1930年（昭和5年）放送用機材の技術開発を目的に設立しました。



[国立成育医療センター]

世田谷区大蔵二丁目

最寄駅 小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅



世田谷通りを進むと左側に国立成育医療センターがあります。写真左は病院で、木立の左側に研究所があります。国立成育医療センターは厚生労働省主管の国立研究開発法人で胎児から 新生児、小児、思春期を経て次世代を育成する成人女性のリプロダクションサイクルで生じる

疾患に対する医療研究を行う目的で 2002 年（平成 14 年）設立されました。
寅次郎、初めてその存在を知りました。

[日大商学部交差点]

国立成育医療センターの先で世田谷通りは左方向（写真下左）に進みますが、分岐を右に行くと日本大学商学部（写真下右）がありました。



[仙川] 世田谷区大蔵三丁目 最寄駅 小田急線 成城学園前駅

おおくら大佛 妙法寺の看板（写真下左）の前を仙川（写真下右）が流れています。仙川は小金井貫井北町三丁目の新小金井街道直下が上流端と定められ、武蔵野市、三鷹市、世田谷区を流れ、世田谷区鎌田で野川に合流します。三鷹市に丸池という湧水があり、沢山の水が湧き「千釜」と呼ばれたことが川名の由来と伝わります。流域に仙人が住んでいた伝説によるとの説もあります。



仙川を渡り直進して左にある妙法寺には立ち寄りませんでした。家に帰り調べたら、しだれ桜の名所でおおくら大佛は回転するハイテク大佛と知りました。

[砧小学校交差点] 世田谷区喜多見六丁目

最寄駅 小田急線 成城学園前駅

砧小学校交差点（写真下右）で右へ行く道は小田急線 成城学園前駅方面です。世田谷通りは直進します。





交差点を右へ行くとすぐに右に東宝スタジオ（写真左）があり、前まで行きました。東宝の映画、テレビのスタジオで通称 東宝撮影所、砧撮影所だそうです。壁面のゴジラが印象的でした。また世田谷通りに戻ります

[旧称 砧中交差点] 世田谷区喜多見七丁目

最寄駅 小田急線 成城学園前駅

旧称 砧中交差点（写真下右）で多摩堤通り（都道 11 号線）と交差します。左へ行くと二子玉川方面、右へ行くと成城学園前駅方面です



[野川] 世田谷区喜多見七丁目

最寄駅 小田急線 成城学園前駅



次は野川（写真左）を渡ります。野川は国分寺市東恋ヶ窪一丁目の日立製作所中央研究所の敷地内の湧水が水源で小金井市、調布市、狛江市、世田谷区を流れ二子多摩川で多摩川に合流します。ウォーキングコースでよく歩きました。

[新一の橋交差点] 狛江市岩戸南一丁目 最寄駅 小田急線 狛江駅

小田急線 喜多見駅入口を過ぎると、東京都狛江市に入ります。新一の橋交差点（写真下右）で右へ行く道は、いちよう通りで狛江市役所方面です。



[狛江三叉路交差点] 狛江市岩戸南一丁目 最寄駅 小田急線 狛江駅

狛江三叉路交差点（写真下右）で右へ行くと狛江通りです。狛江市役所前、調布方面です。右側は小田急線が走っています。



ゴールも近くなる中で気分を癒してくれるのは東京都調布市がホームチームのプロサッカークラブ「FC TOKYO」のフラッグ（写真下左）と近くにある

十幹森稲荷神社（写真下右）です。昔の旅人はこの神社で旅の疲れをいやし、旅の安全を祈願したことでしょう。



〔狛江高校交差点〕 狛江市東和泉四丁目

最寄駅 小田急線 和泉多摩川駅

小田急線のガードをくぐると狛江高校交差点（写真下左）です。交差点右角に都立狛江高校があります。左へ行くと小田急線 和泉多摩川駅，右へ行くと松原通り（都道 114 号線）で調布市方面です。



〔多摩水道橋〕 狛江市東和泉四丁目

最寄駅 小田急線 和泉多摩川駅

前方の多摩川に架かる（写真下左）多摩水道橋（写真下右）が見えます。

詳しくは寅さん歩 125 東京にこんなところー1 をご覧ください。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、6月8日、黒羽（現在の栃木県大田原市）から 39 km（江戸深川から 250 km）地点に到着しました。次の目的地 那須湯本（現在の栃木県那須郡那須町湯本）まではあと 38 km です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝